

ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングプロジェクト 「暑い日こそ公園に行きたい」と思える新たな公園へ 大塚台公園に“びしょ濡れで遊べる遊具”をつくります！



豊島区は、大塚台公園に、子どもたちがびしょ濡れになって遊べるウォーターパーク遊具を整備するため、本日 9 月 9 日(水)より、ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングによる寄付金の募集を開始します。

昭和 48 年に開園した大塚台公園は、JR 山手線大塚駅から徒歩 5 分と非常にアクセスが良く、多くの方々にご利用いただいています。一方、開園から 53 年が経過し、遊具や施設の老朽化が進んでいることから、令和 10 年の開園に向けて全面リニューアルを実施します。

今回のリニューアルでは、かつて設置されていた親水施設を復活させるべく、新たなシンボルとして「蒸気機関車をモチーフにしたウォーターパーク遊具」を整備します。遊具は、上にある大きなバケツが回転して大量の水を降らせるほか、シャワートンネルや様々なところから水が噴き出す設備等、子どもたちが思い切り水遊びを楽しむことができます。さらに、夏以外の季節もすべり台やアスレチックとして遊ぶことができ、限られた公園の面積を有効活用します。

本プロジェクトを通して、かつて多くの方々に愛された親水施設を再整備することで、暑い夏でも水遊びを通じて安心して外遊びができ、幅広い年代の子どもたちが集い、交流できる環境づくりを目指します。12 月 7 日(月)までに 300 万円寄付いただくことを目標に募集し、集まった寄付金は、ウォーターパーク遊具の整備費に活用します。

本事業の実施にあたり、区の担当者は「『暑いから公園では遊べない』ではなく、『暑い日こそ公園へ行きたい』。そんな子どもたちの笑顔があふれる公園を実現したいと考えています。皆さまの温かいご支援をお願いいたします」とコメントしました。

■ふるさとチョイス GCF®(ガバメントクラウドファンディング®)について

プロジェクト名:こどもたちの夏を変える！大塚台公園に“びしょ濡れで遊べる遊具”をつくりたい！

寄付募集期間:令和 8 年 9 月 9 日(水)～12 月 7 日(月)

目標金額:300 万円

対象:個人の方(区内外在住問わず)

※今回指定額以上の寄付をしていただいた皆さまには、
現地の公園案内板に設置予定の寄付者銘板にお名前
の掲載や、新植する桜の樹名板にお名前と好きなメッセージ
を掲載いただけます(返礼品ではありません)。

ふるさとチョイス GCF®サイト:https://www.furusato-tax.jp/gcf/5658?utm_source=tokyo%20toshimaku&utm_medium=referral&utm_campaign=lgm%2013116



リニューアル後イメージパース



■ウォーターパーク遊具の特徴

①真夏の暑さでも遊べる！

大きなバケツが回転して大量の水が降ってくるほか、シャワートンネルや遊具のさまざまな所から水が噴き出すため、全身びしょ濡れになって遊ぶことができ、真夏の暑い日でも快適に遊ぶことができます。

②一年を通じて遊べる！

夏は水遊びできる遊具として、それ以外の季節は複合遊具として遊ぶことができるため、遊具の機能を最大限発揮できるとともに限られた公園の面積を有効に活用できます。

③だれでも安心して遊べる！

ウォーターパーク遊具は足元がゴムチップ舗装となっており、滑りにくく衝撃を吸収するほか、水深は 20cm 程度と浅い仕様となっています。小さいお子さまから幅広い年齢の子どもたちが楽しめる遊具です。



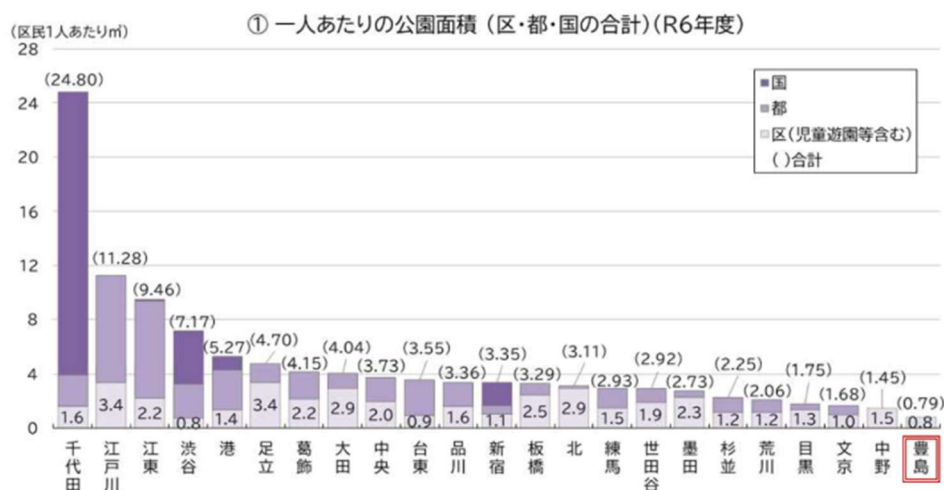
ウォーターパーク遊具(正面)

■豊島区の公園を取り巻く課題

都内 23 区で最も少ない一人あたりの公園面積

豊島区は広い面積を有する国営公園や都立公園が無く、東京都 23 区のなかで、区民一人当たりの公園面積が最も少ない区であり、22 位の中野区とは倍近い差があります。全部で 165 箇所ある公園のうち、1,000 m²未満の公園は 109 箇所と全体の 60%を占めます。

限られた公園空間だからこそ、公園は地域の子どもたちや利用者にとってかけがえのない存在です。そのため一つの公園空間を有効に活用し、質を高める整備を推進しています。



出典: 特別区土木関係現況調査一覧(R6.4.1)